

言語活動の充実を図る国語科指導の実際②

－空欄設定法などを活用した授業の工夫－

詩や短歌・俳句などの韻文の指導は、形式や表現技法の学習と内容の解釈一辺倒の授業になりがちである。短い文や言葉に込められた作者の思いや情景を豊かに想像するためには、使われている一つ一つの言葉に意味があることを子どもたちが実感することが大切である。

そのためには、様々な学習方法が考えられるが、その一つとして空欄設定法がある。

次に紹介するのは、空欄設定法も含めた「俳句メイキング」という言語活動を取り入れた実践である。

空欄設定法

空欄設定法は、韻文（詩や短歌・俳句）などに空欄部分を設定し、そこにあてはまる表現を前後のつながりや示されている表現を手掛かりに予想しながら読んでいく方法である。

次のような効果が考えられる。

- 作品の理解・解釈につながる。
- 書き手の立場を経験することで書き手の表現の工夫や効果にも気付く。
- 言語感覚を磨く。

【例】「寒いね」と話しかければ（ ）と答える人のいるあたたかさ（短歌）

* （ ）の中に入る言葉を前後の関係や想像した情景、場面等をもとに考えさせる。正解を求めるのではなく、なぜその言葉を入れたかを説明させることが大切である。

【実践例】奄美市立名瀬中学校 徳永由美子教諭の実践を基に作成

1 単元名 豊かな言葉（第3学年）

2 教材名 俳句の可能性

3 単元の計画

(1) 単元の目標

ア 文章から、俳句の形式やきまりについて理解させる。

イ 日本の伝統的な詩形式について関心を深めさせる。

ウ 俳句の大意をとらえさせる。

エ 朗読を通して、俳句を自分なりに解釈させる。

オ 今までの学習を応用し、自作の俳句を使って「俳句メイキング」を行うことで、言葉について考えさせる。

(2) 指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	1 俳句の形式やきまりを理解する	・ 通読し、学習の内容をとらえる。 ・ ワークを活用し、伝統的な詩形式をまとめる。
2	2 俳句を読み、表現を味わう	・ 文章から季語や用法などをおさえ、俳句の大意をとらえる。 ・ 言葉の響きを味わい、朗読する。 ・ 「有季定型」を守り、俳句を作成する。
3	3 「俳句メイキング」をする。	・ グループごとに話し合い、「俳句メイキング」で俳句を楽しむ。

4 本時（3／3）

(1) 本時の目標

- ・ 俳句を楽しみ、俳句心（詩心）や言語感覚を育てる。
- ・ グループで話し合い、意欲的に発表できる。
- ・ ゲームとして取り組むことで、俳句を楽しむ。

(2) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導入	1 前時の学習を想起する。 2 本時の目標をとらえる。 「俳句メイキング」で俳句を楽しもう	5	・ 学習目標を明確につかむために、俳句の成り立ちや約束事を確認し、意欲を高める。
	3 バラバラになった俳句を組み合わせて、メイキングする。 俳句がバラバラになったよ。もともどもどしてあげよう。	10	・ パズル形式にして、楽しく進める。 ・ 音の響きを大切にするために、音読をさせ、大意をイメージ化させる。
展開	4 途中までの俳句から結びを考えて、メイキングする。 最後の「五」ができないんだ。完成させて。	10	・ ここで、俳句を作る際の注意を確認し、言葉づくりを支援する。 ・ アニメーションの柱である「遊ぶ」「共同」を大切に、指導型にならないようにする。
	5 同じ絵を見て、それぞれのグループの俳句をメイキングする。 一人一人の俳句をドッキング、推敲しよう。	10	・ 「歳時記」を参考に季語を決めさせる。 ・ 感動を何にするか、どんな言葉にするか考える。 ・ お互いのよいところを認め合って推敲する。
終末	6 本時のまとめをする。 7 次時の予告をする。	5	・ 俳句メイキングについて感じたことや俳句の特徴などについて、まとめる。

ここでは、結句を隠して（空欄にして）そこに入る言葉を考えさせているが、例えば、「雪とけて村いっぱい（ ）かな」のように、各句の一部を考えさせることも考えられる。ここでは正解を求めるのではなく、初句や二句にある言葉から情景などを想像し、どんな言葉を入れるとよいか考えさせることが大切である。考えさせたあと、「作者はこういう言葉を入れているよ」と紹介するとよい。